

ステークホルダーの皆さまへ

ブラザーのDNAを伝承し 未来永劫の繁栄に向け 変革に挑戦します

継続的に繁栄し続ける企業体質へ

「変革への挑戦」をテーマに掲げた中期戦略「CS B2018」(2016年度～2018年度)では「時代や環境の変化に対応し生き残ってきたDNAを伝承し、未来永劫の繁栄に向けて、変革および成長領域や新規事業に挑戦し続ける複合事業企業」となることを目指し「事業の変革」「業務の変革」「人財の変革」の3つの変革を実践しています。

初年度である2016年度では、通信・プリンティング機器(プリンティング・アンド・ソリューションズ事業)がグローバルで堅調に推移したものの、円高による為替のマイナス影響などにより、売上収益は前年度と比較して減少しました。一方、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業を中心に収益性改善に向けた取り組みを推進した効果などにより、2016年度より会計基準を変更しているものの、営業利益は日本会計基準時代も含め過去最高となり、「CS B2018」の利益目標を2年前倒して達成しました。この勢いで残りの2年間で「CS B2018」において実現すべき「変革」をグループあげて成し遂げていきたいと思っています。

2016年度における変革への取り組み

「事業の変革」においては、成長領域事業へのリソースのシフトと先行投資を計画通り進めています。ドミノ事業も順調に推移しており、ブラザーとの相乗効果を発揮することでグループの支えとなる中核事業へと成長させていきます。

「業務の変革」においては、新規設計支援システムの導入による開発プロセスの効率化を中心に、開発・製造・品質管理・調達などを包括したモノ創り全体の効率を最大化するシステムの構築をさらに推進していきます。

「人財の変革」においては、昨年1月に人財改革委員会を立ち上げ人事制度改革案を策定しました。これまで以上に多様な人財が能力を発揮できる制度や環境を整え、サクセッションプランや若手登用プログラムを展開し、次世代経営人財、グローバル人財の育成や世代交代などに一層力を入れていきます。

変革を実現させる投資戦略と財務戦略

ブラザーは、お客様のニーズの的確な把握と顧客価値の最大限の創造を事業投資の判断基準としています。あらゆる場面でお客様を第一に考える“*At your side.*”の精神に基づき、効率性の追求だけでなく、各事業の戦略に即した設備・研究開発や販売チャネルの構築・拡大のための投資を実施しています。

通信・プリンティング機器や通信カラオケシステム(ネットワーク&コンテンツ事業)などの収益力強化事業において、業務の効率化と構造改革などにより安定した収益を継続的に確保し、その一方で成長が期待される事業や新規事業へ重点的な投資をする方針です。また、M&Aなどの戦略的な投資については、成長領域事業、新規事業強化を目的とした案件を中心に、機動的に検討をしていく方針です。

2016年度は業務の効率化と構造改革といった取り組みの効果がすでに出ており、キャッシュフローも大幅に改善されています。また有利子負債の削減を進め、早期にネットキャッシュ^{*}をプラスへと回復させることで、財務体質の強化を図っていきます。

株主の皆さまへの利益還元については、財務戦略とのバランスを考慮しながら連結配当性向30%を目安に安定的な配当を実施してまいります。

※ネットキャッシュ:現金および現金等価物(預金、短期の有価証券)と有利子負債(借入金・社債)の差。

ステークホルダーから信頼される 企業であり続ける

ブラザーはすべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けるため、環境・社会・ガバナンスにも力を入れていきます。

今年2年目を迎える中期環境行動計画2018においては、環境配慮製品の創出、CO₂排出量の削減、COP10で採択された「愛知ターゲット」に基づいた生物多様性保全などにおいて継続的な取り組みを行っています。また地域社会とのコミュニケーションを通じて要請や期待を正しく把握し、グループ全体で一体感を持った社会貢献活動を多くのグループ従業員参加のもと実施しています。またブラザーグループ健康経営理念を制定し、健康経営の推進にも力を入れていきます。

コーポレートガバナンスにおいては、経営資源の最適化と顧客価値の創造により企業価値を長期的に高めること、企業の透明性を高め株主の皆さまとの間に長期的信頼関係を築くことを重視しています。ブラザー工業では、他社に先駆け多くの独立した立場の社外取締役が客観的な視点で経営に対する監督を行っています。

ブラザーグループが、お客様に信頼され、従業員が誇りの持てる、未来永劫に繁栄する企業であり続けるためには変革への挑戦が不可欠です。

厳しい環境下でも勝ち残れる「強いブラザー」を築くため、これまで以上に変革に挑戦し続ける企業体質へと転換を図ってまいりますので、今後ともブラザーグループのすべての活動にご理解、ご期待を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ブラザー工業株式会社
代表取締役社長

小池利和

